

Domaine Henri Gouges

ドメヌ アンリ グージュ

長期熟成のポテンシャルを秘めたクラシックなニュイ サン ジョルジュ

アンリ・グージュがニュイ・サン・ジョルジュにある 9 ヘクタールのブドウ畑を相続したのは、第一次世界大戦が終戦した直後のことです。1920～1934 年にかけて重点的に畑を買い足していった結果、現在では、ニュイ・サン・ジョルジュの一級畑の中でも最高の立地条件を誇るレ・シェニョ、シェヌ・カルトー、レ・ブリュリエ、モノポール(単独所有畑)のクロ・デ・ボレ・サン・ジョルジュや、アペラシオンで最も著名な銘醸畑として知られるレ・ヴォークラン、レ・サン・ジョルジュを含む約 15 ヘクタールの畑を所有しています。

アンリは、当時、粗悪品が市場に出回っていたことを懸念し、マルキ・ダンジェールヴィルなどと並んで 1920 年代からドメヌ元詰めを開始しました。また、AOC を管理する公的機関 INAO のメンバーとしてブルゴーニュの格付けに真摯に取り組み、近代ブルゴーニュワインの立役者として知られるようになりました。

「偉大なワインは畑から生まれる」というグージュ家の哲学は、ドメヌ設立以来、世代を超えて守り継がれています。ワインの品質向上を図るべく、徹底した収量制限の他、1977 年にブドウの畝と畝の間にライムギの草を植える手法を取り入れました。ブドウ樹とライムギを競争させることで、ブドウの根が地下深くまで伸びてミネラルを吸収し、ワインの味わいに複雑さと深みを持たせることが出来るなど、多くのメリットを得られることが判っています。現在は、アンリのひ孫のグレゴリーとアントワヌの二人がドメヌの運営を担い、自然環境に配慮したワイン造りを行っています。2008 年から全ての畑で有機栽培を実践し、土壌の研究に加えて、土中微生物の活動の活性化及び根の成長促進に力を入れています。このようにしてドメヌ・アンリ・グージュは、偉大なワインを一貫して輩出する革新的なドメヌとして揺るぎない地位を築き上げています。

(画像上:グレゴリー、画像下:アントワヌ)



■テクニカル情報■ ドメヌ所在地:コート・ド・ニュイ地区ニュイ・サン・ジョルジュ村 畑面積:約 15ha 栽培:2008 年から全ての畑で有機栽培を実施 醸造:手摘みで収穫。ブドウは厳しく選別し、100%除梗。発酵前の低温マセラシオンは比較的長く行い、29℃を上回らないよう低温に保ちながら天然酵母のみで自然発酵。発酵後、タンク内を 28℃に保ち、更に 9～10 日間浸漬し色味とタンニンを優しく抽出。新樽率 10～30%のオーク樽で 10～18 カ月熟成。

■2021 ヴィンテージ情報<ヴィノス/2022 年 11 月掲載記事より抜粋>■

アントワヌ・グージュ「4 月の霜の影響を受けた難しい年でしたが、被害はそれほど大きくありませんでした。剪定時期は非常に遅く、2 回目は 3 月上旬に行ったため、損失は 15-20%で済みました。例年より涼しい生育期でした。シーズン終盤に葉にウドンコ病が大量に発生したため、徐葉し、風通しを良くしました。収穫は、9 月 17 日に白ブドウからスタートし、9 月 23 日に終了しました。平均収穫量は 25hl/ha と妥当で、2020 年よりも良い結果が得られました。ブドウの質はとても素晴らしく、選果は少しだけで済みました。この年は、素晴らしい凝縮感とエネルギーを備えたクラシックなスタイルのワインに仕上がったと思います。繊細なヴィンテージのため、フィネスとシルキーな質感を生かすことに重点を置き、ピジャージュとルモンタージュは優しく施し、過度なタンニンが出ないように、インフュージョン(醸し)を行いました。SO2 の使用量は以前の半分に抑えました。

■2022 ヴィンテージ情報<ヴィノス/2024 年 1 月掲載記事より抜粋>■

アントワヌ・グージュ「開花は順調でした。暑く乾燥した気候でしたが、6 月下旬に 2 度雹が降り、大雨に見舞われたため、30% 減収となりました。フォンテーヌ・ジャキノの区画は全滅でした。雨のおかげでブドウの成熟が進みました。白、赤ともに 9 月 1 日、2 日に収穫を開始し、収量は 27hl/ha でした(例年よりも明らかに低い)。ブドウはすべて除梗しました。醸造時の SO2 使用量が少なかったのと、この時期のセラー内の温度がさほど低くなかったためか、マロは早く進みました」

ここ 5、6 年でさらに微調整を経たと思われるグージュのワイン。彼らのスタイルを好む人にとって、2022 年は魅力に溢れたワインとなるだろう。



～白ワイン～

2021 Nuits Saint Georges Blanc 1er Cru La Perrière

上代価格 ¥29,000(税抜)

ニュイ サン ジョルジュ ブラン プルミエ クリュ ラ ペリエール

JAN:4543190185738

「ピノ・グージュ」と呼ばれるピノ・ブラン 100%で造られる白ワイン。このブドウ品種は、ピノ・ノワールの亜種でドメヌの創設者であるアンリ・グージュがブドウ畑の調査をしていた際に偶然発見したことから「ピノ・グージュ」と呼ばれています。ラ・ペリエールの区画は、「石切り場」という意味を持つその名の通り、かつては採石場として使われていた土地で、岩石やチョークを非常に多く含む土壌を持ちます。極めて低収量なため、濃厚で複雑味のある個性的な白ワインを生みます。

【辛口/白】 品種:ピノ・グージュ(ピノ・ブラン)100% Alc.:13.5% 畑面積:0.41ha 植樹:1947 年 年間生産量:2,000～2,500 本

★バークハウンド 90 点:フレッシュでよく熟したアロマを持ち、白桃やアプリコット、灰かにライチを思わせるようなエキゾチックなニュアンスが香る。洗練されたテクスチャーと深みを備えたミディアムボディの味わい。後味には灰かに石のようなミネラル感と絶妙な緊張感があり、バランスの良い余韻が長く続く。若いうちに楽しみたい。《飲み頃:2024 年以降 | #91 2023/6/10 掲載》

★ヴィノス 90 点:スライスしたばかりの洋ナシやフランジパネ、波しぶき、オレンジの果皮を思わせる明瞭なアロマを持つ。非常にバランスの良い味わいで、繊細で伸びやかな酸とともに桃の果皮、ドライマンゴーのようなフレッシュなアロマが後味に広がる。心地よい味わい。

《飲み頃:2023-2035 年 | 2022/11 掲載》



～赤ワイン～

2021・2022 Nuits-Saint-Georges

上代価格 ￥16,500(税抜)

ニュイ サン ジョルジュ

JAN:4543190182379 (2021VT), 4543190183192 (2022VT)

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% Alc.:13%前後 畑面積:3.2ha(1級畑の上下に点在する区画)
植樹:1971年

ニュイ・サン・ジョルジュ南部に点在する5つのクリマ(レ・プラトー、ベル・クロワ、レ・フルリエール、レ・クロ、レ・シャリオ)から収穫されたブドウをブレンド。地層は深く、粘土と沖積層、石灰岩の砂利が混じる土壌から、ピュアで芳醇なワインを生みます。数年間の熟成を経ることで、その真価を発揮します。

2021VT★ワイン・スペクテーター90点:熟したチェリーのアロマを纏った豊潤でバランスの良い赤。花やミネラル、スパイスを思わせる香りと味わいが広がる。しっかりとしたタンニンを備えた長い余韻が印象的。

《飲み頃:2024-2032年 | 2024/5/31掲載》



2021VT★バークハウンド88点:アーシーさを伴う深みのあるアロマを持ち、レッドカラントやダークカラントのニュアンスに野趣が漂う。ビロードのような滑らかさと優しく撫でるような質感を持つふくよかなミディアムボディの味わいは、飲み心地が良く、余韻に軽やかなストラクチャーを感じる。この美味なワインは典型的なニュイのスタイルではないが、魅力的だ。《飲み頃:2026年以降 | #89 | 2023/1/10掲載》

2021VT 他誌評価:★ヴィノス87点

2022VT★ワイン・スペクテーター91点:ブラックチェリーやブラックベリーの風味を甘くスパイシーなオークが縁取る瑞々しい、しなやかな赤。バランスが良く、伸びやかなフィニッシュに焦点を絞ったタンニンが印象的。《飲み頃:2028-2043年 | 2025/3/17掲載》

2022VT★バークハウンド88-91点:顕著な土の香りにレッドベリーやダークベリーのニュアンスと仄かな野趣を感じる。なめらかな質感を持つ生き生きとしたミディアムボディの味わいは素晴らしく、中盤に魅惑的なテクスチャーが感じられ、やや野趣を帯びた渋みのある後味が長い余韻を生む。若いうちから美味しく飲めるが、中期的な熟成が期待できる。《飲み頃:2028年以降 | #93/2024/1/10掲載》

2022VT 他誌評価:★ヴィノス90点

2022 Nuits-Saint-Georges 1er Cru Les Pruliers

上代価格 ￥30,000(税抜)

ニュイ サン ジョルジュ プルミエ クリュ レ プリュリエ

JAN:4543190183215

ニュイ・サン・ジョルジュ南部の斜面に位置する2区画の畑から収穫したブドウを発酵段階でブレンドしています。標高240～260メートルの丘の中腹に広がるこの一級畑は、丘の頂上から降り積もった様々な岩石から成る複雑な土壌を持ち、濃厚でがっしりとした堅牢な味わいを持つ長期熟成力の高いワインを生みます。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% Alc.:14% 畑面積:1.8ha(平均樹齢50年以上)
新樽率:25% 生産量22L/ha

★ヴィノス91-93点:濃密な赤果実の凝縮したアロマを持つ。丸みを帯びたテクスチャーを持つバランスの良い味わいで、エッジはさほど強くない。滑らかな非常に官能的なワイン。終盤に向けて、リコリスや主に黒果実のニュアンスが香る。4～5年の熟成で、美味しく味わえるだろう。《飲み頃:2027-2042年 | 2023/11掲載》

★バークハウンド90-93点★Outstanding(傑出したワイン):野趣あふれるよく熟したワインで、ダークベリーや土を思わせるニュアンスに富む。筋肉質のスケールの大きな味わいで、ボリューム感、密度、力強さを備え、野趣を帯びた渋みのある仄かにあたたかな後味で締めくくられる。クラシックなプルリュエ。《飲み頃:2032年以降 | #93/2024/1/10掲載》



2021 Nuits-Saint-Georges 1er Cru Les Vaucrains

上代価格 ￥31,500(税抜)

ニュイ サン ジョルジュ プルミエ クリュ レ ヴォークラン

JAN:4543190181471

コンブ・デ・ヴァレロを抜け、ニュイ・サン・ジョルジュ最高峰の畑と言われる「レ・サン・ジョルジュ」から地続きの東向きの斜面を持つヴォークランの区画は、カルシウムを多く含む石灰岩質の土壌を特徴とします。ヴォークランという畑の名は、「無価値」を意味し、非常に痩せた土壌を持つことからこの名前が付いたと言われています。痩せた土壌できついストレスを受けて育つブドウは、非常に低収量で地中深くに根を張るため、ミネラルが豊かで格別に凝縮感のある濃厚な味わいのワインを生みます。傑出した長期熟成力を有し、持てる潜在力の全てを発揮するのに10年以上の熟成期間を要します。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% Alc.:13%
畑面積:1.08ha(古木と若木の混じる区画/平均樹齢50年以上)

★ヴィノス92-94点:グージュのワインの中でも最もフローラルで優美なアロマを持ち、バラの花びらや牡丹、艶やかな赤果実、柑橘類の皮のアロマが広がる。繊細なタンニンと美しいバランスを備えたミディアムボディで、後味にピノ・ノワールの透明感を感じる。

《飲み頃:2024-2037年 | 2022/11掲載》



★バークハウンド92-94点★Outstanding(傑出したワイン):爽やかで透明感のあるアロマを持ち、明瞭な大地のニュアンスや赤果実の多彩なアロマが香る。ミネラル感を湛えた恰幅の良い、エネルギッシュな味わい。引き締まった筋肉質な後味は、濃厚ながらも繊細なタンニンを備え、長く美しい余韻を生む。これまでのグージュのヴォークランと同じく、熟成に耐えうるワインで、飲み頃までかなり時間が必要だ。秀逸なワイン。《飲み頃:2036年以降 | #89/2023/1/10掲載》

2021・2022 Nuits-Saint-Georges 1er Cru Les Saint Georges 上代価格 ￥110,000(税抜) ニュイ サン ジョルジュ プルミエ クリュ レ サン ジョルジュ

JAN:4543190185745(2021VT),4543190185721(2022VT)

ニュイ・サン・ジョルジュという村名の由来となったプルミエ・クリュ、レ・サン・ジョルジュ。標高 245-260mの緩やかな斜面(傾斜 7-8%)に広がる東向きの畑で、土壌はジュラ紀に形成された下層土を覆う粘土、石灰岩の小石から成ります。複雑性と深みを備えたレ・サン・ジョルジュのワインは、長期熟成に耐えうるポテンシャルを秘め、グラン・クリュに最も近いと言われるクオリティの高さを誇ります。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% 畑面積:1ha(平均樹齢 60 年以上)

2021VT★バークハウンド 92-94 点★Sweet Spot Outstanding(胸を打つ傑出したワイン):香りは控えめながらも、レッドチェリーのアロマに漬したフェネル、オレンジピール、大地のニュアンスが香るエレガントで優美なノーズ。輪郭のはっきりとした恰幅の良い筋肉質な味わいで、中盤は密度が高い。ミネラル感を湛えた後味は、力強くシリアスで、やや厳格な印象。傑出したワインだが、飲み頃までしばらく熟成させたほうが良いだろう。《飲み頃:2036 年以降 | #89 2023/1/10 掲載》

2021VT★ワイン・スペクテーター 94 点:シルキーな質感を持つ芳醇なワインで、バラ、サンダルウッド、オレンジピール、オーク由来のスパイスが漂い、イチゴやチェリー、塩味を伴うミネラルの風味を引き立てる。今の段階ですでに継ぎ目がなく滑らかで、中盤で花開いてゆきながら、複雑で持続性のある余韻へと続く。《飲み頃:2026-2043 年以降 | 2024/5/31 掲載》

2021VT 他誌評価:★ヴィノス 91 点

2022VT★ヴィノス 93-95 点:実に複雑なノーズ。赤果実と黒果実が織りなすアロマに漬した花びらや、時間とともに立ち上るスパイスの仄かなニュアンスが溶け合う。グラスの中でアロマが変化しているようだ。ミディアムボディの味わい。タンニンはシルキーで滑らか。実にピュアな味わいで、それゆえにレ・サン・ジョルジュが持つ力強いストラクチャーが表立つことはなく、終盤に向けて深みを増していきながら、徐々にパン・デピスやホワイトペッパーのニュアンスを帯びていく。熟成させることで真価を発揮する卓越したニュイ・サン・ジョルジュ。

《飲み頃:2027-2050 年 | 2023/11 掲載》

2022VT★バークハウンド 91-94 点★Outstanding(傑出したワイン):スパイシーなノーズ。赤や黒のピノ果実やスミレ、ハーブティを思わせる複雑なアロマを柔らかな樽香が包み込む。生き生きとした豊かなミディアムボディの味わいにミネラルと力強さを感じる。後味は筋肉質で引き締まっていて、例年ほどの硬さはなく、バランスが良い。長い余韻が続く。実に魅力的なワイン。

《飲み頃:2032 年以降 | #93 2024/1/10 掲載》 2022VT 他誌評価:★ワイン・スペクテーター 96 点

~ Maison Henri Gouges ~メゾン・アンリ グージュ(ネゴシアン部門)

2022 Nuits-Saint-Georges

上代価格 ￥13,000(税抜)

ニュイ サン ジョルジュ

JAN:4543190185714

ヴォース・ロマネ側にあるラ・シャルモットの区画を中心に複数区画のピノ・ノワールをブレンド。樽で買い付けたワインを自社セラーで熟成(新樽率 20%)。

【辛口/赤】 品種:ピノ・ノワール 100% Alc.:12.5 %

★ワイン・スペクテーター 92 点:明瞭な輪郭を持つ生き生きとした赤。チェリーやラズベリーを思わせるピュアな赤果実のアロマを湛えた魅力的なワインで、バラやミネラル、野生のハーブのニュアンスがアクセントを添える。全体的に可憐でエレガント。洗練された余韻が印象的。

《飲み頃:2025-2036 年 | 2025/7/31 掲載》

★バークハウンド 87-89 点:フレッシュで生き生きとした表情豊かなアロマを持つ。赤スグリのアロマに大地や野生を感じさせるニュアンスが仄かに香る。軽やかな味わいで比較的飲みやすい。やや野趣を帯びた深みのある余韻が長く続く。《飲み頃:2026 年以降 | #93 2024/1/10 掲載》

